

補助金評価シート

区分	重点 <u>重点以外</u>	補助根拠	法令補助 ・ <u>その他補助</u>	開始時期	平成29年4月1日	終期	令和2年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	住宅改修支援事業助成金 介護支援専門員等が居宅介護支援の提供を受けていない要介護者等に対し、住宅改修費の支給の申請にかかる理由書を作成した場合に助成を行う。						
款・項・目	款：地域支援事業費 項：包括的支援事業・任意事業費 目：任意事業費						
所属等	福祉部 介護保険課 介護給付係 電話025-226-1273						

年 度		平成29年度（1年目）		平成30年度（2年目）		令和元年度（3年目）	
予算額等の推移	予算(千円)	600		600		600	
	決算(千円)	286		226		600	
補助率		理由書作成1件当たり2千円		理由書作成1件当たり2千円		理由書作成1件当たり2千円	
目 標		<目標が数値でない場合の評価方法>					
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上					100.0%	300件
	達成率 80%以上						
	達成率 50%以上						
	達成率 50%未満	47.7%	143件	37.7%	113件		
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください						
補助事業者による情報の公表		介護報酬で算定されない部分を補完するものであるため公表は行わない。					

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	×
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	×
		c. 補助額が5万円以上になっているか	×	g. 目標は数値化されているか	○
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	×	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 介護報酬で算定されない部分を補完するもので、実績に基づき支払を行うものであるため、現行どおりとする。 <g～hにおける取組>			
	目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか> 住宅改修に必要な理由書を施工業者が作成するケースが増加傾向にあるため。今後も必要な住宅改修が円滑に行われるよう、引き続き支援を行っていく。			
① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② <u>継続</u> ③ 廃止 ①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 介護保険給付の対象となる住宅改修費の支給申請には、住宅改修が必要な理由書の提出が必須であることから、必要な住宅改修が円滑に行われるよう、引き続き支援を行っていく。					